

九大病院だより

入院医療費の支払い方式が変わりました —入院医療の包括評価について—

本院では6月から入院医療費に包括評価による「定額払い」という新しい支払い方式を実施しています。この支払い方式は、大学病院や国立病院など全国82の高度先進医療を行っている特定機能病院を対象に、厚生労働省が医療費（診療報酬）体系の改革を目的に進めているもので、新方式の導入によって医療費体系の合理化や簡素化が一步前進するものと期待されています。

新支払い方式の実施に当たり、厚生労働省は平成14年度に全国的調査を行い、医療費情報を集め検討し、平成15年度から実施に踏み切りました。すでに、4月から一部の大学病院等で開始され、本院では6月1日から実施しております。

これまで、診療行為ごとに医療費を算定する「出来高払い方式」でしたが、新方式は入院患者の病気や病状とともに、処置などの治療内容に応じてあらかじめ決められた一日当たりの定額の点数を基本に医療費を決めようというものです。一日当たりの定額の点数は、1,860に分類された診断群分類（DPC）で入院日数に応じて決められており、適用されるのは入院基本料、検査、投薬、注射、画像診断などで、手術等はこれまでどおりの出来高払い方式です。この支払い方式の対象者は入院患者さんのうち、主治医が診断群分類の対象となると判断した患者さんとなります。診断群分類の対象にならない患者さんは、これまでどおりの出来高払い方式になります。

詳しいことは本院医事課までお尋ねください。

★お問合わせは★

医事課 092-642-5151、092-642-5157 まで



●支払い窓口

◆ 実 例 ◆

急性心筋梗塞で経皮的冠動脈形成術の手術で
25日間入院した場合

一日当たり点数	1日目～10日目	3,599点/日
	11日目～21日目	2,703点/日
	22日目以上	2,298点/日
A大学病院	医療機関別係数	1.0851

●算定内訳●

包括評価＝(3,599点×10日+2,703点×11日+
2,298点×4日)×1.0851＝81,290点

出来高評価＝180,086点(経皮的冠動脈形成術等)

従って、医療費合計は1点10円だから261,376点で261万3,760円となります。



コラム

心のゆとり

私共の病棟は南棟の9階にあり、患者さん達が食堂として使われるサンルームからは遠くに海が見えます。勿論私が食堂に行くことはあまりないのですが、ときどきそっと隠れるようにしてこのサンルームをのぞきます。時間に余裕があって夕刻に行くことができたとき、夕闇が訪れる前のほんの少しの時間、大変に美しい夕焼けが見える日があります。広くて明るい窓からそれを眺めて楽しんでおられる患者さんやご家族の後ろ姿を見ると、「ああ、夕日の美しさを楽しむことができるようになったのだ」と、心に温かいものが込み上げて来ます。美しい夕日を楽しむという心のゆとりが入院中の方々に戻って来る、これが全ての医療人の願いです。一方、気の毒なことにこの優雅な夕日を楽しむ暇など全くない人達が

たなか まさお
第一外科教授 田中 雅夫

MESSAGE from Masao Tanaka

病院内にはいます。患者さん達のお世話をしている主治医、看護師達です。セブンイレブンというコンビニがありますが、医師達の生活がセブンイレブンと言われていたのをご存じでしょうか？朝の7時から夜の11時まで働くという意味です。超過勤務手当など無いのですが、病める人を救いたいとの衝動に突き動かされて毎日を家族など二の次で生活しています。私は彼らがいとおしくてたまりません。不運にも病に冒された患者さんやご家族の方々の悩みを理解し親身になってお世話することを教えています。どうか皆さん方も心に少しゆとりができたときには本院の若い医師、看護師達をかわいがって育てていただきたいと思います。



対談 21世紀における九大病院の役割③

シリーズで掲載してきた対談も、今号で最終回となりました。21世紀にふさわしい病院づくりのため、様々な変革を求められる中、本院は教育・学術研究・高度医療という基本理念とともに、地域医療の中核として、またアジアにおける中心的な病院としてその存在意義と役割を果たしていきたいと思っております。

前号に引き続き、病院長にその所信を聞いてみました。



病院長 **名和田 新**

プロフィール

平成14年4月から本院病院長に就任。専門分野は内分泌代謝・糖尿病学、老年医学、分子遺伝子学。

病院管理、運營業務等について

——高度先端医療を展開するための病院管理、運營業務などシステムはどうお考えですか。

名和田 これまでのような内科、外科という分け方ではなく臓器系統別の診療科にする。すでに外来の一部は実現していますが、患者さんや職員にも理解できるように、例えば腎臓、消化器、糖尿病などのようにします。また、循環器や脳卒中などは内科、外科が同じフロアで診療するセンター方式を考えています。医療機材の管理や発注にも迅速、安全、効率を考えた方式を検討しています。確かに、科学技術の進歩でDNA構造が解明され、生体医療、再生医療、人工臓器など医学、医療が進みましたが、倫理的問題をしっかりとおさえ、情報を開示して、皆様の理解の上に人間が物質としてではなく、個体としてみる人間科学の視点、人間の幸を考える医学、医療を目指したいと考えています。

ボランティア活動について

——「あなたは九大病院でボランティア活動をしますか」というアンケート調査に62%の人が「します」と答えています。福岡市民は九大病院にエールを送っていることにもなります。

名和田 欧米の病院には市民のボランティア活動が盛んだと聞いていますが、そんなにたくさんの市民の皆さんが本院でボランティア活動を希望されているとは大変心強い限りです。院内にボランティアに関する委員会もあり、今後、積極的に受け入れを検討しますが、どのような内容の仕事をしていただくか考えます。大学病院も市民の皆さんに「開かれた病院」であるべきで、ボランティア活動などを通して、ご理解とご協力が不可欠であります。

医の倫理について

——かつて「医は仁術」と言われ、医の倫理が強く求められました。今日でも臓器移植や末期医療などに関連してたびたび問題になりますが、九大病院の基本姿勢を伺います。

名和田 医学、医療が進めば進むほど医の倫理が大切です。患者さんやご家族に十分に説明し納得していただくインフォームドコンセントを厳守した上で、治療・手術をするのは当然のことです。独りよがりな医療は許されません。情報を積極的に開示して、患者さんやご家族の皆さんに信頼されてこそ、はじめて医療が成り立ちます。

医の心について

——言い古された言葉に「医の心」があります。医学、医療全体の基本であり、環境が厳しいほど、この言葉の重みが強くなるのしかかってきます。

名和田 医の心は医学、医療の原点です。患者さんが暮って下さる医師、臨床に強い医師なども必要ですが、患者さんの側に立った診療内容、医療の質が大切です。医学、医療は医師自身のためにあるのではなく、患者さんのためであって、医師は患者さんの治療のサポートをしていることを忘れてはならないと思います。 (対談おわり)

聞き手 **林**

道雄

福岡老人問題研究会事務局長、元西日本新聞社記者、平成14年10月から本院広報サービス委員会広報専門部会委員。

—ふれあい看護体験—

看護の心をみんなの心に

ナイチンゲール生誕の日の5月12日、看護に関心を持つ40名の高校生を迎え、ふれあい看護体験を催しました。

白衣姿も初々しく、緊張の中にも真剣に車椅子搬送や清拭、患者さんとの語り等々の看護の体験をして頂きました。

患者さんとのふれあいを通して、看護の心をみんなの心へと豊かな感性で受け止め、紡いでいって頂ける事と感じました。

(副看護部長 前田勝子)



●ふれあい看護体験での一場面

◆参加した高校生のみなさんに感想を聞きました。

- ストレッチャーや車椅子に乗ることにより患者の目線で病院内を見ることができた。洗髪は温度調節が難しかった。
- 緊急場面に遭遇できて現場の緊張した雰囲気味わうことができた。医療ミスを起こさないための対策がいろいろなされており、驚いた。病院は、各分野の人々が働いて成り立っていることが理解できた。進路に大いに役立つと思う。
- 配膳の準備をしていた時、水分制限のある患者用のお茶を準備していたので、患者個々の情報がきちんと伝達されていることに驚いた。血圧測定がなかなかできなくて4回目ようやくできた。
- 入浴介助をした時に「気持ちいい」と言われ、うれしかった。看護師は大変な仕事だと理解できた。昼食は色彩にも気を配っていて、おいしかった。
- 看護師が責任や自覚を持って仕事をしていることと、病棟の雰囲気がすごくよかったことが印象に残った。将来看護師になるのが目標である。



病院地区 建物紹介

南棟②

南棟とは…
平成14年4月に開院した本院の中で一番新しい建物です。

ダイニング&ラウンジ

4階以上にダイニング（食堂）とラウンジを設けています。

全面ガラス張りとなっていますので、ダイニングからは博多湾へ沈む夕日を、ラウンジからは東平尾公園の四季折々の大変美しい景色等をご覧になることができます。

美しい景色を見ながらの食事、患者さん同士のコミュニケーションの場として、ご家族等との面会の場として、医師・看護師とのコミュニケーションの場として、またくつろぎの場として大いに活用していただけたらと思っております。



●ダイニング



●ラウンジ

※奨学寄付金とは、教育・学術研究の奨励及び病院運営の助成等のため、個人・法人等から寄付金として受け入れるものです。詳しくは、左記掛へお問い合わせ願います。

新型肺炎(SARS)への対策について

5月26日現在、感染者8,202名、死亡者725名とSARSは中国を中心に、世界31地域/国に猛威を振るっています。流行地域の中国の隣国として、また、アジアの玄関としての福岡は、行政と医療機関が連携し、その対策を行っているところです。現在、日本にはSARSの患者はいないわけですから、外国からの持ち込み、いわゆる輸入感染しかありません。そしてその感染の拡大は病院内感染が中心です。したがって、不幸にしてSARSが発生した場合、その初期段階での、院内感染の防止が重要で、病院の外来・入院の患者さん、職員への感染を絶対に防がなければなりません。以上のことから、九大病院としては、SARS疑いの患者さんが来院した場合、できるだけ他の患者さん、職員と接触しないように、新病院ができて以来使用されていない旧救急外来の部屋へ移動してもらい、そこで十分な感染防御策を行った総合診療部の医師が診察および検査を行うようになっています。その結果、SARSの可能性が高いと考えられた場合、患者さんは福岡市の感染症センターに入院していただくことになっています。そして、本院の院内感染対策チームの医師が感染症センターに出向いて、そこでの治療に協力することになっています。皆さまへのお願いとしましては、もし、流行地から帰国し38度以上の発熱などがありましたら、本院に来院する前に、最寄りの保健所あるいは総合診療部に電話をかけて下さい。(総合診療部 092-642-5914)

外来診療日一覧

ご用件がありましたら、下記の診療科等に直接お電話願います。(市外局番は「092」です)

階	科名(電話番号)	初診日	再診日
1	総合診療部 (642-5914)	月～金	月～金
1	内科(初診) (642-5300)	月～金	月～金
2	内科(再来) (642-5302)		
2	心療内科 (642-5335)	月・木	火・水・金
2	神経内科 (642-5349)	火・木・金	月・水
2	循環器内科 (642-5371)	月～木	月・水
2	呼吸器科 (642-5388)	月・水・金	月・火・水・金
2	産科婦人科 (642-5409)	火・木	月～金
2	周産母子センター (642-5900)		
2	小児科 (642-5430)	月～金	月～金
1	第一外科 (642-5453)	火・木・金	火・木・金
1	第二外科 (642-5479)	月・水・金	月・水・金
1	整形外科 (642-5504)	月・水・金	金
2	脳神経外科 (642-5533)	月・水・金	月・水・金

階	科名(電話番号)	初診日	再診日
2	心臓外科 (642-5565)	月・木	月・木
2	小児外科 (642-5578)	月・水・金	月・水・金
2	皮膚科 (642-5596)	月・水・金	火・木
2	泌尿器科 (642-5615)	月～金	月・水・金
1	精神科神経科 (642-5640)	火・木	月・水・金
1	眼科 (642-5660)	月・水・金	月～金
2	耳鼻咽喉科 (642-5681)	月～木	月・水・金
1	放射線科 (642-5705)	月・水・金	月～金
2	麻酔科蘇生科 (642-5719)	月・水・金	月・水・金

※○印の曜日は予約が必要です。

診療施設等	電話番号
救急部受付	642-5873
時間外受付	642-5163
総合外来受付	642-5138
入退院受付	642-5149
地域医療連携室	642-5166
収入掛	642-5169
リハビリ受付	642-5862

- 休診日…土曜日、日曜日、祝日、
年末年始(12/29～1/3)
- 受付時間…8:30～11:00
- 外来玄関開扉時間…7:00～18:00

注

- 予約がある場合はこの限りではありません。
- 再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となることがありますので、あらかじめ受診科「外来」にお確かめ願います。



病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!

※保険証の提示がない場合には、保険の取扱いができないことがありますので、予め御了承願います。

ご意見・ご感想を電子メール(ibskikak@jimu.kyushu-u.ac.jp)
または外来棟玄関の「ご意見箱」にどしどしお寄せください。お待ちしております!